

プログラム

1日目 : 11月17日(土)

(敬称略)

10:00~10:40	受付
10:40~10:50	挨拶
10:50~12:10	応用行動分析(ABA)とその応用 長瀬 慎一 (NPO法人 さるく) ある行動(B)が起きる時に、その行動を引き起こす要因(A)があり、その行動が起こることにより引き起こされる周りの行動(C)があります。応用行動分析では、ABC分析を行うことにより、行動を客観的に理解することの重要性を学びます。
13:00~14:20	TEACCHとその応用 渡邊 倫 (たすく株式会社) アメリカのノースカロライナ州全域で行われている自閉症児者の総合支援システムです。TEACCHで行われているシステムを利用していくことは自閉症へのアプローチの有効な手段の一つとして全世界で認められています。
14:30~15:50	認知発達治療(太田ステージ)とその応用 亀井 真由美 (東京都立東大和療育センター) 自閉症は、知的障害が重度から高機能まで幅広く存在することが特徴の一つですが、約半数は知的障害を伴うと言われます。太田ステージにより簡便に発達を理解することで、より適切な支援・教育を行うことができます。
16:00~17:20	OJT(人材育成)と効果的なケースカンファレンス 佐々木 敏宏 ((福)けやきの郷 ワークセンターけやき) 教育・福祉の分野では多様なニーズに応じていくことが求められ、今までより高い専門性が必要とされています。欠かすことのできないことが、OJT(人材育成)を効果的に行うことです。その重要性和仕組みを学びます。

2日目 : 11月18日(日)

8:45~9:00	受付
9:00~11:30	分科会 長瀬 慎一(NPO法人 さるく) 齊藤 宇開(たすく株式会社) 武藤 直子(親子相談センター 所長 日本自閉症協会 専門相談員) 佐々木 敏宏 ((福)けやきの郷 ワークセンターけやき) 講師とともに(各20名/4クラス)、事例を行動障害に絞り、各講師の方法論のもと、インシデントプロセス法を用いながら様々なアプローチによる検討を行います。1セッションごとに講師が入れ替わります。(講師はお選びいただけません)
12:30~14:30	セッション II ※インシデントプロセス法・・・参加メンバーが相互にインシデント(出来事)を提示し、その背景の事実を質問形式で引き出しながら課題解決を考えていく研修技法。参加者には事前にインシデントを1事例提出していただき、当日各クラスでその内容を簡単に発表していただきます。そして、その中から2例を検討課題として選びます。
14:40~15:40	全体会

講師及び演題、講義の時間については変更することもあります。